



塩害ガードで さびない話

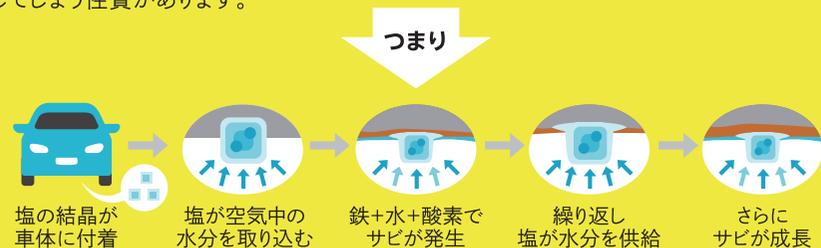


あげよう!
車の底力
↑↑↑

海だけじゃないサビのモト

なぜ塩分があると“サビる”のでしょうか?

塩には吸湿作用があり、一定の湿度を超えると自身が溶液（塩水）になるまで水を吸収してしまう性質があります。



融雪剤でも車体が腐食する!?

平成2年のスパイクタイヤ使用禁止以後、降雪地・寒冷地では機械による除雪やロードヒーティングによる消雪の他に、凍結防止剤や融雪剤の散布が行われています。

これは橋梁や急坂路での路面凍結によるスリップ事故などを防ぐために欠かせないものとなり、その散布量は年々増加の一途をたどっています。この凍結防止剤や融雪剤が車体の腐食の原因となっているのです。

凍結防止剤・融雪剤＝
塩化化合物

主成分は塩化ナトリウムや塩化カルシウム。つまり「塩」なので海水の上を走っているのと同じ状態です。それが車体に跳ね上がり乾燥すると塩の結晶が付着してまいります。

鉄がサビるのは
水と酸素があるから

鉄がサビるのには必ず水と酸素が必要。ただ最近の鋼板防サビ技術の進化により、通常の雨に濡れても直ぐに乾燥するためなかなかサビは発生しません。





塩は湿度の変化により吸湿します

海で泳いだ後シャワーを浴びないと、ずっとベトベトして気持ちが悪いですよね。それは身体に付いた海水の水分が蒸発した後に残る塩分が湿気を吸い、溶液化しているからです。身近でいうと、食卓の塩が固まるのも水を吸っているからです。

湿度の変化による 塩(塩化ナトリウム)の潮解と臨界湿度

湿度(高)

湿度(低)



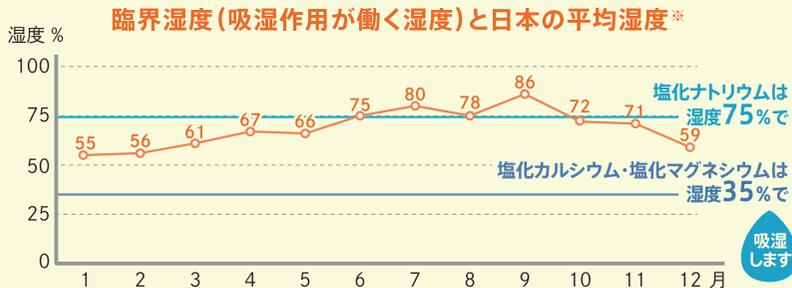
臨界湿度に達すると水を吸収し始める



吸収しすぎて塩水に変化(潮解)



湿度が下がると水を吐き出し結晶に戻る



*参考/気象庁HP(2016年 東京 月ごとの値)

なんと日本の平均湿度は60~70%!

塩分が外気に触れるだけで常に水を呼びこんでいる状況です。たとえ雨が降っていないくても、車体に塩分が付着しているだけで水に濡れているのと同じ状況になり、その水分や酸素が金属面に到達し腐食が始まります。



愛車をサビから守るには?

どうすればサビから愛車を守れるの?

単純に言えば常に車の下部をきれいに洗車すること。しかし一般家庭にはビットも高圧洗車機もありません。付着した塩分を除去するには多大なコストと手間がかかります。



そのまま放置していたら...

とりかえしのつかない状態に!

解決策として

車体と塩分の間に強力な“被膜”を作る

車体面に水や酸素を通しにくい被膜を形成させれば、付着した塩分がいくら水を呼び込んでも金属面に到達しないので車体はサビません。



水も酸素もなければサビないんだ!



防サビ処理の種類

メッキ	亜鉛入りの塗料	防錆剤	塗装(塗料)
×	×	△	◎
出来上がった車にメッキは不可能…	鉄素地に直接塗らないと効果なし…塗装を剥がすの?	薄膜の油程度では過酷な下回りに耐えられない。ワックス系は乾きが悪く車が汚れる。	一番安価で現実的。しかし塗料なら何でもよい訳じゃない。

施工コストや施工後の車の状態を考えると塗装が理想ですが、従来のシャーシーブラック程度の防サビ力では、融雪剤の被害は防げません。

つまり、塗料なら何でもよい訳じゃない!

そこで **塩害ガード** の施工をオススメします



— 密着と耐衝撃性、そしてサビ止め効果を併せ持ったハイブリッド塗料 —

塩害ガードで解決!!

“しっかり塗膜”で水と酸素をブロック!



防錆力の優れた樹脂や骨材などの添加剤で、過酷な塩水噴霧試験1,000時間をクリア。他社の同様の塗料に比べて、サビ止め効果は一目瞭然です!!!

塩害ガードブラック

膜厚
265 μ m
塩水噴霧試験
1,000時間後



他社製品

膜厚
237 μ m
塩水噴霧試験
500時間後



ゴム弾性塗膜で石跳ねもブロック✓

曲げに対する柔軟性

塩害ガードブラック



屈曲試験2mm~10mm

衝撃を受けても剥がれ難い耐チッピング性能

塩害ガードブラック



他社製品



耐チッピング試験(当社製試験機による当社規格)

5mmの鉄球をエアガンより空気圧にて試験板にぶつけ、耐衝撃性能と密着性能を試験した。

5mm鉄球:100個×4セット
ガンと試験板の距離:50cm
空気圧:0.3Mpa=約3kgの衝撃

耐チッピング性に優れたアクリル樹脂を複合し、走行中の小石などの衝撃にも耐える強力なゴム弾性を達成。

いろいろ選べる塩害ガード/
オレンジ ホワイト シルバー レッド ブラック



転ばぬ先の杖 新車を購入したら



塩害ガードで しっかりサビ予防!!



新車じゃなくても
間に合います!!

※経年車の場合は状態によって
処理方法が違ってきますので
施工店にご相談ください。



足回りや溶接跡などのサビが発生しやすい部分は重点的に、タイヤハウス内やホイールアーチなど塗りにくい箇所にもきっちり施工。車を知りつくしたプロの丁寧な施工で下回りの防サビコートを完成させます。



プロによる施工で
しっかりコート!



寒冷地や海での
レジャー好きにも

プロにお願い
安心施工



あなたのクルマ
大丈夫?



株式会社 イチネンケミカルズ

<https://ichinen-chem.co.jp/>

テクニカルサポートセンター ☎ 0120-199-098 月曜日～金曜日までの10:00～17:00(土・日・祝日は休)